# 平成 27 年度

# 女川中学生職業体験サマーキャンプ 活動報告書

2015年8月3日 ~ 2015年8月6日



みやぎ女川被災地教育支援プロジェクト O-JIS ( Onagawa Junior Intern Support )

# 目 次

はじめに 復興支援女川中学生職業体験サマーキャンプについて2
2015 年度 概要 3
各日の体験・活動のまとめ 6
参加者の感想12
関係者からのメッセージ22
取材・掲載していただいた記事 38
写真集41
終わりに

# 女川復興支援・中学生職業体験サマーキャンプについて

2011 年 3 月 11 日。大きな地震をクリニックで迎えた横浜市の医師は、それが東北大震災であるとニュースを報じるテレビ画面を呆然と見ていました。手伝いに行かなければ。しかし、数多くの現実の問題。難しい災害医療へのアクセス。でも出来ることは何かないか。

医師には、仙台の大学で学び宮城県出身の女性と結婚した中学高校の同級生がいました。幸い、彼の親戚に人的被害はありませんでしたが、沖縄の大学で政治学者として教壇に立つ彼も、被災地への手伝いが出来ずにジリジリしていました。

出来るだけ早く現地に行こうと二人は約束し、 つてをたどって東松島や石巻の医療支援に入った のは 5 月の連休でした。医師と学者は小さなレン タカーに乗って宮城県沿岸部を走りまわり医療援 助のお手伝いをしました。

医師はその後も折に触れて、宮城県でのさまざまな活動に参加しました。そうして女川で中学生の学習サポートボランティアをしていた若い女性の塾経営者に出会いました。

こうして始まったのが職業体験キャンプです。 被災地の道路や橋や鉄道や家屋は、徐々に再建されるだろう。でも地域が本当の意味で立ち直って「元気」になるには、将来の地元を支える子どもたちが、目標を持ってしっかり勉学に励み、自分の持ち場で元気に働く社会人になることだ。そもそも女川の子どもたちは地元愛がとても強い。この子どもたちに、君たちの将来はその志と同じくらい広くて大きいことを示したいね。

仙台駅東口のお鮨屋さんで 2011 年 12 月に初めて一堂に会した三人はそんなことを話しました。

三人はこのプロジェクトの実現に向け奔走しま した。そしてつながり始めた温かい絆。うちの役 所でも手伝えることありますよ。うちの会社の工場、見学に来なよ。海産物の流通現場、見せてあげるよ。病院は就業体験をよく受け入れていますからぜひどうぞ。当日の付き添いはやりますよ。思いを込めて協力の手を挙げる人の名前は、控えめに作った小さな「協力者名簿」のリストをたちまち埋めていきました。

震災の夜、女川の体育館で分け合った食事の大切さを決して忘れないと、ある方に言われました。また、北上川沿いにある石巻赤十字病院はもともと地域の中核病院であり、今回の災害医療の拠点として大活躍しました。震災から始まって未来に続く復興の道を歩むには、「食」と「医療」の二つの「仕事」を知ってみよう、体験してみよう。

そう考えてキャンプでは、ロイヤルホールディングスと横浜市中央卸売市場で「食」の現場を、昭和大学横浜市北部病院で「医」の現場を体験します。引率は昭和大学や横浜薬科大学などの医療系の学生が手伝ってくれました。

こうして4回目のキャンプを迎えたのです。

私たちはこのキャンプを通じ「医」と「食」を 仕事にする基礎を子どもたちに伝えているのでは ありません。そうではなく、仕事のイメージを広 げる手伝いをしているつもりです。例えば、病院 は白衣の世界というよりも、本当に多くの仕事の リンクによって成り立っています。どんな仕事も 世界のために必要で、真剣に取り組めばみんなの 幸福につながる。このキャンプが子どもたちの人 生での一つの契機になるよう祈っています。

みやぎ女川被災地教育支援プロジェクト O-JIS Onagawa Junior Intern Supporters

# 実習および見学先(日程順)

1日目 東北支援ショップ 愛と勇気とさんま

リッチモンドホテル

ロイヤルホスト馬車道店

2日目 横浜中央卸売市場 南部市場

3 日目 昭和大学横浜市北部病院

4日目 ロイヤルホストセントラルキッチン

# 宿泊先

1・2日目 リッチモンドホテル馬車道

3日目 ホテルスプリングス幕張

# 15年度 第4回女川中学職業体験サマーキャンプ日程予定

	08:10	女川 08:34 - JR石巻線-石巻 09:.03 - 仙石線 - 10:05 仙台
8/3(月)	10:21	仙台発やまびこ 134 号- 1224 東京-東海道線-横浜
ホテル	13:14	東京 1234 - 京浜東北線 - <b>関内到着</b> ホテルへ荷物を預ける
さんまショップ	14:00	東北支援ショップ・愛と勇気とさんま(馬車道) 表敬訪問 柴原・長田
清水平安堂	14:45	清水平安堂薬局訪問 馬車道あいすくりん実食
ロイヤルホスト	15:00	 
女川 廻	16:00	リッチモンドホテル・バックヤード見学
仙台 木村	17:00	夕食会での女川発表のリハーサル
横浜 田沼	11.00	
鈴木•茂木	19:00	ロイヤルホスト馬車道 実食
名古屋•佐藤	20:30	ホテルへ帰宅 さんまショップ・ホテル体験のまとめ、お礼の手紙
han han sampe   Japa 1944	21:30	就寝

	6:00	起床 、タクシーで移動
8/4(火)	7:00	横浜中央卸売市場見学 食事・14名 飲み物手配
市場	11:00	市場退場 市場車 - ホテルヘ 市場体験のまとめ、
夕食会	14:00	
廻•田沼	17:00	   地下鉄(元町中華街-馬車道) <b>ホテルへ</b> 帰宅
鈴木-茂木	19:00	サポーターとの夕食会 勝烈庵本店
木村•名古屋	20:30	ホテルに帰宅 市場体験・さんまショップのまとめ、お礼の手紙
佐藤•川嵜	21:30	就寝
宗前	21.50	1)VL1X
	7:00	起床 朝食 チェックアウト
8/5(水)	8:00	<b>ホテル出発 -</b> 関内 8:09 - 地下鉄 - 8:36 センター南
病院	9:00-16:00	昭和大学横浜市北部病院 研修
下重•赤松		荷物移動: 竹ノ内
高橋	1630-18:00	センター南出発 - 乗り換え2回 - 海浜幕張
鈴木•茂木	19:00	夕食 → <b>ホテル スプリングス幕張チェックイン</b>
宗前•木村	20:00	病院体験のまとめ、お礼の手紙
名古屋	21:30	就寝
	7:00	起床 朝食 チェックアウト
8/6(木)	8:30	ホテル発 タクシー:12名・3台
ロイヤル工場	9:00-15:30	ロイヤルホスト東京工場 研修
宗前•木村		移動:ロイヤルバス
名古屋・下重	1607-1632	南船橋(快速) -16:32 東京
赤松・高橋	1700-1904	新幹線車(やまびこ 149 号) ロイヤルのまとめ、お礼の手紙
	19:26-20:25	仙台 - JR 東北仙石ライン - 石巻 解散 20:25
	1	

#### 各日の体験・活動のまとめ

## 1日目 2015年8月3日

#### [活動内容]

- ・いざ東京・横浜へ出発
- ・愛と勇気とさんまショップ
- 平安堂薬局
- ホテルチェックイン
- ロイヤルホストにて夕食会

#### [ねらい・計画]

- ・地元から電車で乗り継いで東京にいく
- ・女川のさんまがどのように消費者までに運ばれているかの理解
- ・町の薬局の役割とはなにか
- ・ホテルのバックグランドはどのようになっているのか見学する
- ・ロイヤルホストさんの美味しい料理をいただきながらロイヤルホストさんの仕事は 何かを学ぶ



↑東北新幹線の車内

#### 「流れ・感想】

まずは女川駅まで中学生と初対面である大学生がお迎えに行きました。最初はお互いの緊張がほぐれずまずは車内で自己紹介して無事、仙台駅へ到着。そこからいざ東京へ新幹線に乗りました。

東京着いたら、人の多さと暑さで少しお疲れモード・・。しかし!なんとか関内駅についてからはハードスケジュールをこなしていきました。

まずは、愛と勇気のさんまショップ。ここは、食材を通じて被災地の思いを横浜で協力しようという東北アンテナショップです。



あたたく迎えいれてくれたお店の方、市場 の方から女川のさんまの販売ルートを習い ました。ちなみにここまでは中学生たちだ けでお店まで行きました。

続いて、横浜の老舗薬局の平安堂薬局にお 邪魔しました。実は、今回チューターした 大学生が実習でお世話になった薬局です。 そこで馬車道アイスをいただきつつ薬剤師 の働きについて学びました。



その後、2 泊滞在するリッチモンドホテル 横浜馬車道にチェックイン。ここはキャン プでお世話になる、ロイヤルホストと同じ ロイヤルグループのホテルです。みんなは 自分の部屋が渡されて大興奮♪

そしてホテルのバックグランドの見学へ。



大量の落とし物、ハイテクな駐車場、屋上 の眺めの良さ、スタッフさんのホスピタリ ティーの高さを学びました。

夕食は、日本を代表するレストランチェーンのロイヤルホストでご飯。みんなロイホデビューでしたね。ハンバーグが大人気!お腹いっぱいとなった後は、1日のまとめを行いました。初めて作成したためみなさんなかなか苦戦。添削者もなかなかOKださず・・(笑)

最後は中学生らしいまとめとなりましたね!なぜそう思ったのかをちゃんと考えることは大切であり何が印象的だったかを記録に残していくことは今回の経験通じてこれからも大切にしていってほしいと思いました。



番外編として、夕食前にみなとみらいまで 電車で移動し観光見学しました。



みなさん、いい笑顔ですね♪ みなさんと短い時間ではありましたが、私 自身もとても楽しめました。

#### 2日目 2015年8月4日

#### 活動内容

- ・横浜市中央卸売市場の見学
- 中華街散策
- ・サポーター、関係者との夕食会、中学生 による女川の発表



マグロの解体を見学する様子

#### ねらい (計画)

- 普段見ることのできないような市場を みることによって海産物がどのように 流通していくのかを知る。女川と縁の深 い漁業が少し離れた関東圏ではどのよ うに行われているのか。また、漁業にか かわる方と直接お会いしお話を聞くこ とで、食卓に並ぶ海産物にどのような配 慮や工夫がなされているのかを実感す る。
- 中華街では、販売されている品物や店の 雰囲気を感じることによって異国の文 化を体験することを目的とした。
- ・ 夕食会では現地のことをより深く知っ・ 初めて横浜の人の前で発表してすごく

イズ形式などを用いて相手に伝えやす い工夫をする。大勢の大人の前で発表を するという緊張の中で、適切な声のボリ ュームや原稿をなるべく見ないことを 意識し、発表の仕方をもう一度見直し挑 戦する。発表者として大人の反応を見る 子どもたちにとっては、聞く態度や参加 態度がどんなものであれば発表者にと って好適で発表がしやすいかを学ぶ機 会にもなる。

#### 子どもたちの感想

#### ≪市場≫

- 中央卸売市場のみなさんは朝早くから 競りをしていることを毎日続けている のにびっくりした。
- 市場で働いている人は、買って食べてく れる人がおいしく食べてくれるように 新鮮さを保つ工夫を考えたりして、色々 買う人のことを思って頑張って働いて くれていることがすごいと思った。
- マグロをそのままの状態で見たことが なかったので、良い体験になった。
- ・ 魚とかを切るのに力が必要なので、市場 で働く人は男の人が多いのだと思った。

#### ≪発表≫

- 発表をしてみて大人の人がたくさん参 加して、質問してくれてうれしかった。
- てもらうことを目標とし、図や写真、ク 緊張した。リハーサルではゆっくりしゃ

べることができたのに、本番では話すのが速くなってしまった。

・ 横浜に行く前から事前に集まって考え た甲斐があった。女川のことなどを横浜 の人に伝えることができて良かった。



発表を終え、次の日の病院実習に向けて白衣 を貰った 6 人!

・ 二日目夕食会での発表準備(内容決め・ 担当の割り振り)

#### 3日目 2015年8月5日

#### 活動内容

- ・昭和大学横浜市北部病院にて看護業務体験、中央検査室・初診受付・オペ室の見学
- ・病院(最寄り:センター南)からホテル (最寄り:海浜幕張)までの移動

#### ねらい

病院の中でも普段は入ることができない 場所を見学させていただくことで、医者や 看護師など一般的に知られている職業以外 の方も、病院で働いているという事を実感するとともに、医学部や看護学部など敷居が高いイメージを払拭した上で、院内には身近な仕事をしている方もいらっしゃるという事を知り、職業選択の幅を広げるきっかけとなることを願う。それぞれ信念を持って働いている方に、職場を案内していただくことで誇りや責任を持って働くことの大切さを改めて認識してもらう。また、院内にいらっしゃる患者さんは1人1人違う悩みを持っているという事を知ってもらい、人との接し方を学ぶ。



病院のあるセンター南駅から、ホテルのある海浜幕張駅まで、引率は口出しせずに中学生についていくというスタンスで移動することによって、各自責任を持って行動するという姿勢を身につけてもらう。この二駅は移動距離が長く乗り換えが多いので、移動経路や移動時間は事前に自分たちで調べ、中学生全員が把握していることを前提にしている。また公共交通機関を利用することで、社会でのモラルやマナーを考え直すきっかけとなることを願う。



## 子供たちの感想

- ・看護師さんと一緒に普段は見られない仕 事を見学したり体験したりして、どんな ことをしているのかよく分かった
- ・改めて患者さんとのコミュニケーションをとることが大切だと思った
- ・血液型を調べたり、細胞を見たりと初めての経験がたくさんできた
- ・自分の診察券を作れて嬉しかった。
- ・オペ室での手術見学は、慎重に細い器具 で手先を器用に使って手術をしている姿 を見てすごいと思った
- ・将来、大きな病院で働くのが夢なのでとても勉強になった
- ・病院を見学させてもらって、私も人のた めになる仕事をしたいと思った

#### 4日目 2015年8月6日

#### 活動内容

- ロイヤルホストセントラルキッチンに て職場体験を行う。
- ・ 生産ライン工程でのケーキ作り作業、工 場見学、衛生管理学習
- ・ 各自でケーキ作り体験、実食
- ・ 宮城県女川町までの移動(荷物を持ちながらの電車等での移動)、帰宅。



#### ねらい

日本の外食産業の大手の1つ、ロイヤルホールディングス(ファミリーレストラン「ロイヤルホスト」やフードチェーン店「天や」などを経営している)の店舗用食品加工工場(セントラルキッチン)で職場体験を行った。食品衛生に細心の注意を払うことを、制服着用から生産ラインに立つに至るまでの厳重なチェックを体験し、食品衛生の管理とその重要性を学ぶ。



また、実際に生産レーンに立ったり工場ラインを見学したりすることで、消費者だけの目線ではなく生産者側からの目線としても全国の家庭の食事を支える仕事の実際を学ぶ。

教わりながらケーキを作る体験を通して、 自分たちの普段の食事に存在する他者を意 識し、またそれぞれが作り上げる達成感を 感じ、学ぶことで意欲的に行動を行う。

一日目の食事でロイヤルホストを訪問した意図は、普段なじみがない参加者がいる可能性を考慮した。ロイヤルホストの食事について、一定の来店経験を得ること、食事をしたロイヤルホストで注文したものの一部が、四日目に訪問するセントラルキッチンで作られ全国に運ばれている、という実感を得ることができる。

#### 子どもたちの感想

- ケーキは食べたことしかなかったので 作り方が知れて嬉しかった
- 帽子やマスクをつけてコロコロや手洗いもして、髪やほこりを飛ばす風が出る 部屋にはびっくりした。衛生管理がしっかりしていてすごいなと思いました



- 自分の力で作ったケーキは、すごく達成 感があった
- とても不安でしたが優しく教えてくだ さったのでいい経験になりました
- 自分たちで作ったケーキは普通のより おいしかったです

(下重)

#### 各日のまとめ

キャンプ中、毎日就寝前にその日の活動を振り返るまとめを行った。「本日の出来事・どんな体験ができた?」「印象に残っていること(興味を持ったこと・ショックを受けたことなど)」「なぜそう思ったのだろう」「今日話を聞いた人・話した人」「一日を通しての感想」の5項目で構成した

# 参加者の感想

## サマーキャンプに参加して



青木 帆乃海

私はサマーキャンプに参加して、思ったこと、感じたことがたくさんあります。サマーキャンプ職業体験は、普段体験できないことができたので、思い出がたくさんあります。

まず1日目では、私たちは8時10分に女 川駅を出発して、横浜に向かいました。横 浜に着くまで長時間かかったけれど、新幹 線の中でみんなと楽しく話しました。はし ゃぎすぎて怒られたけれど、とても楽しく 移動する事が出来ました。横浜に着き、ホ テルに行き準備をした後に愛と勇気とさん まショップに行きました。そこでは、会議 室で横浜の市場についてなど、魚の性質な どをくわしく分かりやすく教えてもらいま した。その後、ロイヤルホストで夕食を べました。そこでは、好きな物をごちそう になり、食べながらロイヤルホストの仕組 みや心がけなどをくわしく、教えてもらい ました。

2日目は、朝の5時50分にホテルを出て、 タクシーで横浜中央卸市場に移動しました。 朝が早くて本当に倒れそうだったけど、が んばって話を聞きました。研修が終わり、 そのまま市場の食堂でお昼ご飯としてハン バーグを食べさせてもらいました。昨日の 夜ご飯も、ハンバーグだったので「またか …。」と言って、みんな笑っていました。で も、とてもおいしかったです。その後、ホ テルに戻り、自由時間になりました。その 時間は電車で移動して、横浜コスモワール ドに行って、みんなではしゃぎまくりまし た。ホテルに戻りホテルから歩いてすぐの 所のとんかつ屋さんで夕食会が行われまし た。そこでは、とんかつを食べながら、た くさんの大人の方々が名刺交換したりして いて、すごく大変だなと思いました。私た ちはその夕食会で2人ずつ3つのグループ に分かれて、女川の場所やイベントなど、 女川の事を横浜の人達にくわしく知っても らうために、緊張したけれどがんばって発 表しました。

3日目は、昭和大学横浜市北部病院に向かい、3人ずつ2つのグループに分かれて、自分達で電車の時間を調べてまよわずその日に泊まるホテルに向かいました。病院では、まず会議室に行って病院の先生達から病院の事について教えてもらいました。そ

の後、3つのグループに分かれてそれぞれ 体験しました。私は、看護業務の体験をさせてもらいました。そこでは、注射器は注射器でも色んな種類がある事にびっくりしたり、実際に患者さんの体を拭いているところを見たりして、とても新鮮でした。その後は、手術室に入って実際に行われている手術を見る事ができ、すごかったのと、受付で診察券を作らせてもらって、とても楽しかったです。

4 日目は、横浜サマーキャンプ最終日。 朝、タクシーでホテルを出発して、ロイヤ ルホストセントラルキッチンに向かいまし た。セントラルキッチン研修では、まず従 業員さんと同じ服装に着替えて、コロコロ をしたり、手洗いを入念にしたり、風が出 てくる部屋に入ってゴミを落としたりしま した。やはり食品を作るところだから、衛 生管理がちゃんとしているのだなと思いま した。セントラルキッチンの工場の中には、 一度にたくさんの人数分を作れる大きいな べがたくさんありました。とても大きくて びっくりしました。次に、実際に商品とし て出す、ケーキ作りを工程ごとに体験させ てもらいました。実際に商品に出すという 事で、緊張したし失敗したらどうしようと 考えながらやりました。難しい事もあった けれど楽しかったです。その後、1人でケ ーキを作りました。シェフの方の話をよく

かったしおいしかったです。

3泊4日の横浜サマーキャンプを終えて、 私は将来の夢や職業についてもっと真剣に 考えるようになりました。私が、将来働く のにも、様々な大人の方々の支えがあって 働けることを忘れずに、感謝しながら働き たいと思います!!

# 女川サマーキャンプに参加して



小海涂 里菜

私達は八月三日~六日までの四日間、『女 川職業体験サマーキャンプ』に参加させて いただきました。私がこのキャンプに参加 したいと思った理由は、いろいろな体験を してみたかったことと、以前姉がこのキャ ンプに参加していて興味があったからです。

て出す、ケーキ作りを工程ごとに体験させ 一日目は横浜に着いてからまず「愛と勇 てもらいました。実際に商品に出すという 気とさんまショップ」に訪問しました。そ 事で、緊張したし失敗したらどうしようと こには女川のものや女川の写真がありまし 考えながらやりました。難しい事もあった た。すごく女川のことを知ってもらえていけれど楽しかったです。その後、1人でケ るんだなぁと思い、嬉しくなりました。次 一キを作りました。シェフの方の話をよく に薬局に行き、中などをすこし見させても らいました。香水みたいなきれいな入れ物

に入ったものが育毛剤だったのですごくお どろきました。その後にアイスもいただき、 美味しかったです。次にホテルに行って、 リッチモンドホテルの方がホテルの中を案 内してくださいました。1番印象に残って いることは、屋上みたいなところに行った 時です。他のところよりも複雑でたくさん の機械があって、すごいなと思いました。 一日目の最後はロイヤルホストでお食事会 をしました。ロイヤルホストの社長さんが ごちそうしてくださり、ごはんも美味しか ったです。少しですが、ロイヤルホストの ことも知れてよかったです。

二日目は市場に行きました。私は市場の 見学をしたことがなかったので知らないこ とがたくさんありました。市場でよく見か ける乗り物が「バタバタ」という名前だっ たことや、市場にも住所があることが分か りました。とても素敵な経験でした。二日 目の夜は女川のことを発表しました。みな さんたくさん質問をしてくださったので嬉 しかったです。とんかつも美味しかったで す。

三日目は病院の見学に行きました。そこ で私は患者さんの体を拭いたり、車イスを 押したりさせてもらいました。患者さんも 終わった後「ありがとう」と言って下さっ たので嬉しかったです。午後は自分の口の 中の細胞を見ました。カラフルでとてもき れいな細胞でした。その後血液型を調べま学んだ感想を書きます。

したが、すごく楽しかったです。A,B,O,AB 型に当てはまらないのは「亜型」というそ うです。びっくりしました。自分の診察券 も作りました。自分で作るのはもちろん初 めてだったのでいい体験でした。鼻の手術 をしているところも見せてもらいました。 手術室はすごく複雑だと思いました。病院 はとにかく楽しかったです。

最終日はロイヤルホストの工場の見学を しました。実際に工場の中でケーキ作りの 工程をやってみた時は緊張しました。午後 は自分達でケーキを作りました。家でたま にケーキは作るけれど、クリームとかが均 一にぬれなくて難しかったです。でも美味 しかったので良かったです。

今回のキャンプはすごくいい職業体験 でした。楽しかったです。

# 人へのありがたみ



杉浦 美吹

私は、今回の職業体験でたくさんのこと を学ぶことができました。そこで体験して 私が今回このプロジェクトに参加した理由は、看護師に将来なるために何かを学べるのではないかと思ったからです。しかし、このプロジェクトは看護師になるために学びたかったこと以外にもたくさんのことが学べました。

まず、さんまショップでは社会の勉強になることを教えてもらいました。私はあのような工程で私達が魚を食べていられることを初めて知りました。そして女川のことを横浜に広めるためにさんまを横浜の人にふるまっていることも初めて知りました。サンマ祭りの時にたくさんの人が来てくださっているのは、女川のためにさんまをふるまってくださっている方々のおかげでもあるのだなと思いました。

市場見学では一般の方ならみることができないだろう場所を見学させてもらいました。私が1番印象に残ったところはマグロの解体です。初めて見たのですごく迫力があって印象に残っている、ということもありますが、私が初めて生魚を食べられたというのもあり、この市場は私の中では印象に残っている場所です。私が生魚を苦手とする理由は生臭いところが苦手だからです。ですが、私達のためにせっかく自分の仕事もあるのにふるまって下さったのだと思うと自然と食べてみようと思いました。食べてみたら、新鮮だからか全然生臭くなくて、食べることができました。他にも冷凍庫が

印象に残っています。冷凍庫を見せてもら った時に冷凍庫の扉が二重になっていて、 私は冷たい空気が外へ出にくいように二重 にしているのかな?と思ったのですがその 場では質問できませんでした。市場見学の 後にあった夕食会に市場の方が来ていたの で聞いてみたら私の仮説と同じ理由でした。 私は自分で疑問に思ったことを自分で解決 できたことから、すごくこのことが印象に 残っています。夕食会は、普段は知らない 大人と話すことなどないのでとても楽しか ったです。目の前で名刺の交換をしていた ので大人になったら私もこういうことをす るのかな…?と思いました。また大人の人 の中にまざってお話をする機会があること を楽しみにしています。その夕食会で、次 の日に病院の手術室に着ていく手術着をも らいました。私は心からとても嬉しかった です。

病院では点滴に管を通すという作業をやらせてもらいました。看護学校や大学などに行かないと体験できない作業をやらせてもらい、すごく嬉しかったです。まわりの看護師さんはこの作業をすごく手早くやっていました。ですが看護師さん曰く、手早くやることは大切だけれど雑になってしまうと余計に手間がかかるので、早く丁寧に一発でやることが大事だと言っていたので、私の今後の人生にも役立ちそうな言葉だなと思いました。

そして私が病院で印象に残っていることは、タバコはダメということを教えてもらったことです。タバコを吸うと、どういう悪いことがあるのかなども詳しく教えてもらいました。私は、タバコはだめということは知っていたのですが、タバコを吸うことにより体にどのような悪いことがあるのかを詳しく知らなかったので勉強になりました。だから、周りに吸いそうな人や吸っている人がいたら、それは体に悪いことなのだと教えたいし私自身絶対に吸わないと思いました。

ロイヤルホストではケーキ工場の見学が 印象的でした。結構力を使ったり技術が必 要だったりする作業だったので毎日私たち がケーキを食べられるように作っているの だと、とてもありがたく思いました。

私達が安心して食べることができるよう に沢山の人が努力しているということと、 自分の看護師になるという夢が近くなった、 と思いました。

# 横浜のまとめ



鈴木 沙耶

私の三泊四日でのまとめは四つあります。 一つ目は、一日目のことです。私は初めて新幹線に乗って東京へ行ったのですごくウキウキしていました。横浜に着いてからすぐ愛と勇気とさんまショップに行きました。そこでは、女川の様子や写真などがたくさん貼られてありました。私は、横浜にも女川のことを知ってもらいたい人たちがいるんだなぁと思いました。そして、魚には不飽和脂肪酸というものが入っていて魚は不飽和脂肪酸というものが入っていて魚をたくさん食べても太りにくいことが分かりました。他にも魚のことについて色々と教えてもらいました。だから魚についてした。だから魚についてした。だから魚についてといました。だから魚についてはいました。だから魚についてはいました。

そして、ロイヤルホストで夕食をとりました。私はめったに値段が高いハンバーグを食べたことがなかったので高い料理を食べました。さらにデザートにはパフェも食べました。すごく美味しかったです。お腹がいっぱいでパフェを残してしまいました。だからパフェを頼まなければよかったと思いました。(笑)でもとても美味しかったし

ロイヤルホストの方々とも沢山お話しができたのでよかったと思いました。

二つ目は、二日目のことです。始めに魚の神社を見に行きました。その案内をしてくれた方は金魚の帽子をかぶっていたおじさんでした。とてもおもしろかったので今でも記憶に残っています。

次に冷蔵庫と冷凍庫に入りました。その中でタオルをクルクル回したところ一瞬で固まってしまいました。とてもびっくりしたし、おもしろかったです。朝食は丸魚食堂で食べました。二日目に続いてまたハンバーグだったので「え!」と思ってしまいました。しかし丸魚食堂のハンバーグは、一日目に食べたハンバーグとは味などが少しちがったのでこれもすごく美味しかったです。

二日目の最後にマグロの解体を見ました。 そこでは、たけさんという方がマグロをさ ばいているのを見ることができました。そ の後骨の近くの部分をスプーンですくって 食べてみたら、すごく美味しかったです。 あんなに美味しいマグロははじめて食べま した。とても美味しかったので、たくさん 食べればよかったと今になって後悔してい ます。私は近くにマグロの目があったので、 「目ってなんでとっておくのですか?」と 質問しました。そしたら「目は食べないけ れどまわりについているのは食べられるよ」 とおっしゃっていました。私は、よくそれ を食べる勇気があるなあと思いました。夕 方ぐらいから中華街に行きました。中華街 ははじめてだったのでとても楽しみでした。 買い物する時間があまりなく、ゆっくり選 ぶことができなかったので私が気に入った 物を買いました。買う時間が少なかったけ れども、楽しかったのでよかったです。

三つ目は、三日目のことです。病院へ行って看護師さんと一緒に入院している人のところに行き、その様子をみたりしました。その後手術をしているところを見ましたが、少し気持ち悪いと感じてしまいました。しかし、一日病院でお話を聞いたり体験できたのでよかったです。

四つ目は四日目のことです。

初めてケーキ作りをしました。私はおかしなどを作るのが好きなので、とても良い経験になりました。そして工場でお手伝いをしたとき、「これよりいつもは回る動きが早いんだよ。」とおばさんに教えてもらった時はびっくりしました。この回すはやさだけでもとても大変なのに、普通はもっとはやいということは、私たちが体験したときよりももっと大変ということなのです。それを思った瞬間、仕事とはこんなにも大変なことなのだと、サマーキャンプのケーキ作りの体験で学べました。

このように色々と体験できたので、とて も良い体験ができました。ありがとうござ いました。

## 横浜の職業体験を終えて



鈴木 奈桜

私はこのような体験をするのは、横浜の 3泊4日がはじめてで、あっという間でし た。

まず1日目の午後に横浜についてから 「愛と勇気とさんまショップ」という女川 の特産物を売っているお店に行きました。 私は女川以外でしかも横浜という県を越え た場所で女川の物を売っている場所を初め て見て、今もまだいろんなところで支援し てくださっているのだなと思い、とてもう れしくなりました。お店に来てもっといろ んな人に女川について知ってもらいたいな と思いました。そして、その日の夕食は「ロ イヤルホスト」というレストランで食べま した。私はハンバーグを食べました。とて もおいしかったです。食べ終わった後に口 イヤルグループというロイヤルホストを経 営している人達に話をしてもらう時間があ り勉強になりました。仙台にも同じお店が あるらしいので今度また行きたいと思いま す。

らうことになりました。ふだん入れない業 務員さんの休憩場や駐車場のしくみ、屋上 にある換気扇など、めったに入れない場所 をたくさん見られてホテルの仕組みってす ごいなと思いました。

2 日目は「横浜中央卸売市場」という大 きい市場を見学しました。市場でたくさん 体験をしたり、見たりすることができまし た。特に思い出に残ったのは冷蔵庫とまぐ ろの解体です。冷蔵庫は超低温冷蔵室とい うマイナス 45~60℃もするとても寒い場 所で、中に入れることになりました。私は 半そでとショートパンツだったのでふるえ が止まりませんでした。

タオルを回すとタオルがかちかちに凍っ てしまい、それだけ温度が低いのだなと思 いました。夏でもこんなに寒いのだったら 冬は大丈夫かなと不安になりました。次に まぐろの解体をしました。まぐろは 100kg くらいの大きなまぐろで、包丁が身長より も長い 2m くらいの包丁でした。それを 3 枚おろしではなく 5 枚おろしにしてもらい、 自分たちがスプーンで身をとるという体験 をさせてもらいました。味はふつうのまぐ ろよりトロトロしていておいしかったです。 他にもたくさん見学させてもらいました。 市場をこんなにじっくり見学したことがな かったので見られて嬉しかったです。

市場を見学した後に夕食会があり、女川 ホテルに帰った後ホテル見学をさせても のことを発表しました。私はりなちゃんと

女川のイベントについて調べ、発表しまし た。主に4つのイベントを紹介しました。 とても緊張して、かみそうになりましたが、 かまずに最後まで発表することができてよ かったです。

3 日目は北部病院という横浜市の大きな 病院に行きました。

そこでは2つの体験をしました。

1つ目が診察券作りです。パソコンで名 前や住所を打ちこむと小さなコピー機のよ うなものからすぐに診察券が出てきました。 どのようにして診察券を作っているか知り たかったので知ることができて嬉しかった です。

2つ目が看護師さんの業務体験です。私 は整形外科というところの病棟で体験をし ました。私がしたのは、体温計をわたして 測ってもらうという仕事です。看護師さん はパソコンで患者さんの情報を打ちこんで いました。部屋をまわるごとに看護師さん が、今の人はこういう人だからこんなこと をしなければいけないのだよと、丁寧に教 えてもらいました。そこで私が分かったの は同じ整形外科というところでも患者1人 1人が違う症状で違う検査をしなければな らないということです。もし、何か1つで も間違った情報があると、その人の命に関 わることなので、看護師は大変な仕事なの だなと思いました。

手術中の様子を見たりなど、なかなか大変 できないことをたくさんさせてもらいまし

4日目はセントラルキッチンという大き な工場へ行きました。そこではケーキ作り をしました。入る前の衛生管理が厳しく時 間内に終わらせないといけないので、すご く難しかったです。最初にケーキ作りの見 学をしました。そこで初めて出来上がるま でのケーキを見ました。次にケーキ作りの 体験をしました。全部で6か所ぐらいに工 程が分かれていて、一番思い出に残ってい る工程はスポンジを分ける作業です。スポ ンジは上、中、下の3つにカットされてい て、上のスポンジを取らなきゃいけないの に全然取れなくて手こずりました。下の2 つは崩すことなく出来たのでうれしかった です。なれてきた頃に従業員さんに「上手 だね」と言ってもらえたことがうれしかっ たです。他の工程も全部楽しみながらやら せてもらいました。

最後に自分だけでケーキを作りました。 一番難しかったのが、生クリームをスポン ジにぬる作業です。全然うまくぬることが できずに、クリームの量が多いところ、少 ないところとムラができてしまいました。 逆に、一番楽しかったのがフルーツを並べ る作業です。後から、こうすればよかった なと思うところもあったけど、はじめてに 他にも北部病院では血液の検査をしたり、してはよくできたのではないかと思います。 その後、自分で作ったケーキを食べました。 味は思っていたよりもおいしくできたので とても嬉しかったです。作り方や材料を教 えてもらうことができたので、今度家でで も作ってみたいと思います。

私はこの4日間の職業体験でたくさんの 人から仕事のやりがいや大変なことなどた くさん学びました。そしてお金を稼ぐこと の大変さを知ったので、お金の使い方を見 直そうと思いました。私たちは秋に、学校 の職場体験もあるので、一生懸命頑張りた いと思います。本当にこのサマーキャンプ に参加することができてよかったです。こ の大切な4日間を忘れずにこれからもすご していきたいです。

#### 女川職業体験

#### サマーキャンプに参加して



八巻 愛

私は今年の夏、女川職業体験サマーキャンプに三泊四日間参加してとてもよい経験ができました。

初日は横浜のお店にある女川の食べ物や 被災地の写真などを見に行きました。その 後にお店についてやお魚、市場についてお 話をしてもらいました。そして、泊まるホ テルの中を見学したり関係者以外入ること のできないところを見せてもらい、ホテル の造りについて知ることができました。夜 にはロイヤルホストで夕食をとり、とても 美味しかったです。特にデザートのブルー ベリーをかき氷と一緒にしたものが美味し かったです。ホテルでは、大学から来てく れた方とたくさんお話したり、学校の友達 と遊んだりして仲を深めることができまし た。

二日目は、朝早くに横浜市にある中央卸 売市場に行ったり、元町の中華街に行きま した。中央卸売市場ではセリの仕方や、そ の日の朝にとったまぐろを解体し、解体し たまぐろをみんなで食べました。この市場 を見学し、おみこしや冷凍庫に入ってタオ ルを振り回したり、市場の食堂でお昼をご ちそうになりました。ここでしかできない 体験をしたり、今まで知らなかったセリや 魚がスーパーなどのお店に送られる様子な どがたくさん知れてよかったです。私の親 戚に魚の水産工場で働いている人がいるの で、その人に魚について少し教わって少し でも多くの魚や貝類を食べられるようにな りたいと思いました。元町の中華街では、 日本人だけではなくたくさんの外国人がい たり、栗を配っている人が多くいてびっく りしました。中華街の門は残念ながら工事 中で見ることが出来ませんでしたが、色々 なお店に行ったりお土産を買うことが出来 て満喫できました。

三日目は昭和大学附属横浜市北部病院へ 研修に行きました。主に四つのことをここ で学んできました。

一つ目は看護業務体験です。私は、一人の看護師さんの後につき、いつも行っている看護師さんの仕事について知ることが出来ました。患者さんとの接し方や声のかけ方、お世話の仕方などを自分の目で見たり、実際にやってみたりすることができて嬉しかったです。

二つ目は受付で診察券を作りました。普 段の病院ではできないことが受付でできて とても楽しかったです。

三つ目は、中央検査室で自分の細胞を見たり血液検査をしたことです。中央検査室は、働いている人だけが入れる場所であまり入れない場所だったのでびっくりしました。自分の細胞も見たことがなかったし、血液検査で人の血液を何型か調べたこともとても良い経験になりました。

四つ目は、オペ室の見学です。テレビで はよく見るのですが、生でオペ室を見るこ とができたし、その時手術中の部屋に入り、 本物の手術の様子を見ることができたので とても貴重な体験でした。

四日目は、ロイヤルセントラルキッチンに研修へ行きました。午前中は工場内を見学し、ケーキを作る工程を手伝わせてもらい、午後は自分たちでケーキを作りました。 私達の食べるものを作るために工場の方々ががんばってくださっているところを見て、 改めて感謝して食べ物を食べたいと思いました。

私はこの四日間でたくさんのことを学びました。私たちの見えないところで精一杯働いてくださっている人や、身のまわりにたくさんの、私たちの生活を支えてくださっている人達がいることです。私は将来医療関係のお仕事につきたいので、このプロジェクトは自分自身の将来を考えるいい機会になりました。そしてこのプロジェクトに協力してくださった方々に二日目の夜に女川のことについて発表できて、少しでも女川のことについて知ってもらえたかなと思います。これを機にぜひ女川へ来てくれればいいなと思っています。

私が、このプロジェクトに参加できたことに感謝したいです。

## 活動協力者よりメッセージ

# 2015 サマーキャンプを終えて



なごや耳鼻咽喉科 名古屋 孝夫

今年の8月、本当に暑かったね。そして 女川を離れ遠い横浜で、千葉で頑張ったね。

僕が君たちに初めて会った時、横浜・馬車道のリッチモンドホテルのロビーで君たちは落ち着かずに上ずった表情をしていたね。それでも、「こんにちは!」と声をかけた時、君たちの何人かは「こんにちは」と返事をしてくれました。僕は何だかほっとしたのを覚えています。

あの大地震から 5 回目の夏。君たちの町 も大きく変わったね。僕は 3 月の石巻線の 開通の 1 週間後に女川に行きました。立派 な駅舎に、真新しい女川温泉。きれいに整 地された駅前。町の人達の顔はうれしそう に見えたよ。

僕は女川町立病院の裏山の頂上に上った。 作業をしている人達について行って斜面に 入り、森を伐採した側の山を汗をかきなが らてっぺんの展望台までのぼり、街を眺め た。そして、・・がく然とした。そこには何 もなかった。長い歴史を持つ三陸の雄、女 川町の中心があるはずの場所が、大都市の 近郊のニュータウンの建設現場のように、 清潔にかたづけられた区画整理地になって いる。

顔のない街。そう思った。新しいきれいな街。だけど、君たちのおばあさんたちが暮らしていた生活の匂いがしない。おばあさんのおばあさんたちが泣いて笑っていた面影がない。僕は会ったことがないけど、きっとすごくかっこよかった君のおじいさん、すごい美人だった君のおばあさんのおばあさんがそこで生きて暮らしていたなごりがない。ちょっとさびしくて残念。

パンドラの箱って知っているかな。ギリシャ神話に出てくる、決して開けてはならない箱。欲望に負けたパンドラが箱を開けてしまうと、そこに入っていた多くの災厄が世界中に飛び散ってしまうが、箱の中に唯一残っていたものは、「希望」だった。

かつて東京や横浜でも 70 年前の戦禍で 多くの町がすべて灰になった。その 20 年前 は関東大震災で多くの町が無くなった。だ けど、僕たちのおじいさん、お父さんたち は頑張って、多くの町を、日本を再び立派 に築き上げた。そして、僕たちは今ここに いる。 今はまだ何もない女川駅の駅前。君たちと 過ごしたキャンプの後、僕にはそこにはい ろいろなものが見える。泥臭い東北の未来 が、ねばり強い女川の底力がそこにがっし りと立っているのがみえる。

キャンプの最終日の南船橋駅のホームで、 君たちにがっつり闘魂注入したね。ちょっと力が入りすぎてごめん。キャンプの4日間、本当にお疲れ様。まあ、みんなもキャンプの項目以外にけっこう遊んだから疲れもたまったね。だけどみんなは本当にえらい。4日間をやり通したことがえらい。やり始めたことを最後までやりきるのは人生にとってとても大切なことです。今回は4日間のキャンプだったけど、あれだけスパルタの内容をくじけずやりきった君達を誇りに思います。

キャンプ中にも言ったけど、これからは 口角を上げていこう!口角を上げるという のは、微笑むということ。微笑みは、いい 人間関係の源であり、元気と幸せの源であ り、すべての希望の源です。笑顔で毎日を 過ごしてください。

いつも応援しています。

# 線路はいつかつながる



大阪薬科大学教授 宗前清貞

女川中のみなさん、キャンプへの参加ご 苦労様でした。特に仙台からの帰り、石巻 まで座れなくて大変でしたね。それでもみ んなでおしゃべりしながら楽しそうにして いるのを見て、付添ってよかったと思って いました。

4年前に来た津波で、仙台と石巻を結ぶ仙石線はひどい被害を受けてしばらく運転ができなくなりました。しばらくしてから仙台から高城町や石巻から矢本まで運転を再開したものの、松島湾の沿岸部の線路を再建するのに4年近い日がかかりました。

僕は15年も前だけど結婚して長女が生まれた頃に多賀城に住んでいました。だから今はもう宮城県から離れてしまったけど、仕事や大学に出かけるために使っていた仙石線がちゃんと復活してくれるのか、とても気になっていました。野蒜や東名から電車に乗る人はそんなに多くないのではないか。だからお金がたくさんかかる新線建設は諦めてしまうのではないか。どうせみんな自動車を持っているし、石巻から仙台へ

は高速バスを使えば安くて座れて便利だか らそれでいいじゃないか、とならないだろ うか。

でも線路がつながるというのはやっぱり 大事なことです。たとえそんなに多くの人 が鉄道を利用しなかったとしても、何か安 心感がある。この線路をずっとたどってい けばどんなに遠い場所でもたどり着ける。 女川駅から伸びている線路は、石巻だけじ やなくて仙台へ、東京へ、続いている。み んなは中学生で、今は仙台にだってあんま り頻繁に遊びに出たりはしないだろうけど、 でも行く気になれば朝8時半に女川を出れ ばお昼ご飯前には東京駅に着いてしまう。

だから今年の6月に仙石線が全線再開し て、本当によかったなあと思いましたし、 夜の仙石線に揺られながら、そんなことを 考えていました。そして、この話はただの 線路の話だけではなくて、きっとこういう ことも含まれています。君たちがキャンプ で体験したことは、大人になった時の未来 の君たちに直接関係していないかもしれな い。医療の仕事はしていない、食品関係の 仕事もしていない、接客業とも関係ないか もしれない。でも仕事の現場にはいろいろ な工夫があること、仕事は社会の誰かの役 に立つためにあること、今の自分の可能性 を決して狭くとらえる必要なんかないこと、 だってどんな仕事があるのかさえ、今のみ んなはまだまだ探索中なんだからというこ と、そんなことを知る、最初の一粒の種のような役割がこのキャンプだったらいいな、 と思います。このキャンプの体験という始 発駅からみんなの遠くて高い未来の目的地 へ、線路は必ずつながっているのです。

## 女川中学校のみなさんへ



横浜薬科大学 廻絵梨香

お久しぶりです。いかがお過ごしでしょうか?女川駅のお迎えから2日目の夜まで一緒に行動した廻です。まずは3泊4日お疲れさまでした。

女川駅で会ったときのみなさんの最初の 緊張した一人一人の表情は昨日のことのように覚えております。私も緊張してました。 笑

1 日目からなかなかハードスケジュール かつ猛暑そして慣れない人混みの中、一緒 に色々学びましたね。私も初めて行くとこ ろが多く一緒に学ばさせていただきました。 たとえ将来なりたい職業とは関係ない職業 であったとしても自分たちの生活において どこかしらで関わっていることなので忘れ ずに覚えておいてくださいね!2 日目は朝早く起きて市場に行き、楽しいお兄さんに案内してもらいまぐろの解体見て食べてこれまた貴重な体験しました。まぐろ大好きな私自身がおもいっきり楽しみました。食べ物の流通について学べましたね!どの日も忘れないでほしいです。

最後に、自分にあった職業を見つけることはとても難しいことだと思います。しかし私は薬局実習そして病院実習を通して感じたことですが、自分でなりたいと思った夢は諦めないでください。社会に出て働くということは楽しいことばかりではなく辛いことも多くあると思います。そんなときに自分のなりたかった職業であればあるほどその辛さも積み重なれば大きな成長となります。そしてその成長が楽しくなるはずです。まだ将来の夢決まってない子も決まってる子も何事も諦めず貫き通してほしいな。一緒に日々成長していきましょう。2日間みなさんと行動できて楽しかったです。ありがとうございました。

サポーターの皆さま、お疲れ様でした。 大学生チューターもお疲れ様でした。中学 生のみなさん、いつでも応援してます! これからもパワフルに頑張ってください!

# 15 年度サマーキャンプ



横浜薬科大学 赤松美咲

女川中学のみんな、お久しぶりです。あ の夏から、お互い元気にしてますでしょう か。私は元気ですよ~。

さて、私はこのキャンプに2日目の夜から4日目の最終日まで参加させていただきました。昭和大学横浜市北部病院とロイヤルホスト東京工場への体験・見学を女川中学のみんなと一緒に見て感じてきました。20歳の私からみたものと、14歳のみんなからみたものは、同じものでも全く異なったカタチで見えていたことでしょう。それはきっと、女川中学の6人それぞれでも異なっているはず。

私は小学校 5 年生の時、社会科見学の訪問先で得られた経験から今の薬学部という進路に進みました。今回のキャンプで、それぞれが料理人になりたい、看護師さんになりたい、と思ってほしいとは思いません。非日常的な体験というのは、多ければ多い程自分自身の世界への見方を変えることができるビッグチャンスであると私は思います。ぜひ、この夏のことをひとりひとり忘れないでください。そして今じゃなくても

いい、いつか、それぞれにとって素敵な夢を見つけることができる手助けとなれたらいいなぁと願っています。その為に私はこのキャンプに参加しました。このキャンプに参加して、女川中学のみんなのサポートができたことを大変嬉しく思います。それでは。

# サマーキャンプを通してたくさんの感謝とこれから



横浜薬科大学 下重枝保

サマーキャンプ参加後、中学生の皆さん はどのようにお過ごしでしょうか。

私は約一日半、主に最終日に参加させて頂きました下重です。合流は一番遅く、途中からの参加でしたのであまりたくさんは話せませんでしたね。それでも気にならないくらい気軽に話してくれたので嬉しかったです。

今回のキャンプでは、たくさんの人と出 会う機会があったと思います。普段の生活 では見ることのなかった建物の内部はもち ろん、お店やホテル、市場、病院や工場の 働く人達にお会いして、実際のお仕事の説明を聞いて色々な体験をさせてもらいました。今の生活はたくさんの人によって成り立っています。意識したことはあまりないかもしれませんが、皆さんにとっての当たり前は、たくさんの努力で作られています。たった一人では出来ないことが多くあり、多くの人が協力し助け合って現在へと繋がってきました。今回の体験を通して、少しでも社会を知ってもらえたら幸いです。

そしてぜひ、小さなことでも感謝を忘れずに伝えましょう。少し照れくさくても、お互い自然と笑顔になれる魔法の言葉です。私も皆さんと出会い、たくさんの新しい経験をもらいました。本当に参加してよかったです、ありがとうございました!

もう心に決めたやりたいことがある人も、 まだまだ将来をイメージできない人も、そ してもちろん私も、社会の一員となり、協 力して誰かに感謝される未来へと繋げてい きましょう。

それではまたお会いする時までお元気で。

# 中学生のみなさんへ



横浜薬科大学 髙橋小春

今回、サマーキャンプ2日目の途中から参 加させて頂いた髙橋小春です。あの日から 少し時間が経ちましたが、いかがお過ごし でしょうか。

私は薬学部で日々、薬剤師になるために 勉強しています。薬剤師という仕事に興味 を持ったのは、皆さんと同じ中学2年生のこ ろ、職業体験で薬局に行ったときです。で すが、その時に薬剤師になろうと決めたわ けではありません。薬剤師を目指しだした きっかけは、アルツハイマー病という病気 を完全に治すための薬を開発したいと思っ たからです。

今回のキャンプでは様々な職種を見学さ せて頂きました。何か興味のある職業はあ りましたか。もし少しでも気になった職業 があれば、その職業について調べてみてく ださい。どうすればその職業に就くことが できるのか。その職業に就くことによって 何ができるのか。何かしら調べることによ って、さまざまな将来の道を切り開くこと のことを考えても分からないことが多いの つもとは違った環境で過ごした時間は新し

ではないでしょうか。いつか必ず自分がや りたいことは見つかるはずです。それまで に色々な経験をして見聞を広めておいてく ださい。今回のキャンプが将来の夢を考え る1つのきっかけになれば嬉しいです。

最後に私が好きな言葉を書いておきます。 それは"顔晴れ(がんばれ)"という言葉で す。4年前の東日本大震災の直後、新聞を 読んでいたときにこの言葉を知りました。 頑張るとは、辛い時・大変な時でも努力す るという言葉です。"顔晴れ"には頑張れの 意味だけでなく、今回のキャンプで名古屋 さんが仰っていた「辛い時こそ口角を上げ よう」と同じ意味も込められているのでは ないでしょうか。この先、たくさんの困難 が待ち受けているとは思いますが、どんな に大変でも笑顔だけは忘れないでください。 顔晴れ。応援しています。

#### 中学生のみなさんへ



昭和大学 田沼早央理

ができると思います。中学2年生の今、将来 4日間のキャンプお疲れさまでした。い

いことをたくさん吸収できたと思います。 私は最初の2日間しかみんなと関わる機会 が持てなかったけれど、中学生らしい笑顔 で元気な姿も、しっかりとした大人の対応 ができるところも見ることができて私にと っても充実した日になりました。レポート は一番大変だったかな…?たくさん頭を使 ったと思います。でも、みんなの文章は書 くたびに深いものになっていて成長を感じ ていました。中学校ではやらない経験でも ありましたね。将来の夢とかもう決まって きた子もいれば、これから探していく子も いると思います。このキャンプだけでも 様々な分野で活躍する職業の方々に出会い、 日々の生活を見返しても魅力的な職業はた くさんあります。たくさん悩んで、自分の 決めた道を信じて頑張ってほしいです。最 後にみんなの女川についての発表を聞いて、 本当に女川を大切に思う気持ちが伝わる発 表でした。私も生まれ育ったふるさとを大 事にしていかなければと思いました。今回 のキャンプもそうですが、新しい出会いや 機会を大切にして未来を開いていってくだ さい!またお会いできる機会を楽しみにし ています。ありがとうございました。

## 女川職業体験ボランティア



昭和大学 茂木智拓

みなさん、お疲れさまでした。中2のみなさんには今回の女川復興支援・教育的職業体験キャンプは難しいものであったような気がしますがどうでしょうか? 大人になった時に少し今回のことを思い出してもらえると嬉しいです。

さて、みなさんは中学 2 年生ということでまだ無限の可能性を持っている時期だと思います。やろうと思えば何だってやりとげることができます。ただそのためには何かに全力になってみることが必要なのかな、と考えます。4 年前に東北地方は大きく変わってしまった。しかしあらゆるものが消えてしまい絶望の淵にいた中でもみんなは必死になって復興に向けて努力しました。まだ完全復興には程遠いかもしれないが、直後とはくらべものにならないほど回復しました。それはみんなが希望を持っていたからです。必ず復興するという希望。

みなさんの未来も同様のものだと思います。絶対に何かをやりとげてやる、将来は 絶対何の職業に就いてみせる、という気概 はその人を変えます。今回見たあらゆるも のはすべてみんなの血となり肉となっています。必ずや良い人生が待っています。焦 らずに目標を見失わずに前に進み続けましょう。

今から逆の話しをします。逆に信念なく フローで動いてみてもいいのです。自分が 将来幸せをつかむ、ということを考えた時 にもしかしたら強い思いなど邪魔になるの かもしれません。ふとした瞬間に、普通の 人からみたらささいなどうでもいいことが 人生を変えることはよくあることです。み なさんが今将来なりたい職業があるとした らそれはなぜなりたいと思ったのでしょう か?幸せに生きるためにはお嫁さん修行を するだけで別に職業に就くつもりはない、 それも幸せになれるための一つの考え方か もしれません。なりたい職業がある人、そ の夢を前々からずっと持っていたのであれ ばそれは素晴らしいことです。しかし、本 当に数日、数時間でなりたい職業は決まる こともあります。大きなけがをして看護師 さんに熱心にケアを受けてあこがれて看護 師さんになる。たまたま行ったネイル店で のネイルのキラキラ度合いに感動してネイ ル師を目指す。宇宙飛行士の言った発言に 重みを感じ、自分も将来ああなってみたい と宇宙飛行士になろうと思う。そんな理由 でもいいのではないでしょうか?

将来幸せになるために今普遍的に言える大 事なことは勉強をすることです。しかし、 今回このキャンプに参加しようと思って来た 5 人は勉強だけにとらわれず、今自分がやりたいことをやってみる方がいいのかもしれない、と私は思いました。

# 女川中学校のみなさんへ



昭和大学 鈴木渚

お元気ですか?みなさんと一緒に撮った 写真を見返すと、その時の楽しかった記憶 がよみがえります。私はみなさんと沢山お 話する中で、みなさんはとてもしっかりし ているなという印象を受けました。また、 私が中学生の時はできなかった気遣いがで きているなと思った人もいました。そうい ったみなさんの姿を見て、私自身の行動を 反省したこともありました。被災した人の ためにできることがしたいと考えて参加し た今回のキャンプでしたが、逆にみなさん から沢山のことを学ばせてもらいました。

今回のキャンプに参加して、少しでも自 分の将来を想像することはできましたか? 既に将来就きたい職業がある人もいました ね。手術見学用の青い服をもらった時の、 みなさんのきらきらした眼を見て伝えたい なと思ったことがあります。自分が描いた 夢は、実現するまで追いかけてください。 様々な壁が立ちはだかるかもしれませんが、 負けずに頑張ってみてください。一度見て しまった夢は、なかなか忘れられないもの です。やりたいと思ったことができるよう に、頑張るべき時に頑張れる人になってく ださい。みなさんに出会えて本当によかっ たと思っています。また会えたらいいです ね。本当に、ありがとうございました。

# 女川 父兄 (勝手に) 代表



海鮮問屋青木や 青木久幸

あの夜、ハードなスケジュールを無事に こなし、女川駅で疲れながらも充実した顔 を見せてくれ時、成長したなぁと感動して いました。

今回のキャンプで感じて欲しかったのは、 実際に体験での様々な経験を積む事も当然 の事ながら、キャンプ自体に皆さんの為に 時間を割き協力して頂いている方々がいて、 その方々との出会いと繋がりを持って欲し いと言うのがありました。

自分も震災以降、横浜の方々には大変お世 話になっています。

実際に数回家族でお邪魔させて頂きなが らそう感じて欲しいと思っていた所に今回 のお話しがあり、是非参加させて欲しいと 思っていました。

皆さんが将来色んな仕事に就く時、他業種の方と会うのは本当に稀だと思います。 そういう面で今回の体験は実は物凄いチャンスを秘めた物でした。これから何度も訪れる苦難に立ち向かう時、その体験で得た繋がりは大きな糧になります。そして今回得た経験は物凄い武器になります。

少しでも今後の人生に役に立てる事が出 来れば、協力して頂いた方々にも喜んで頂 ける物になるではと個人的主観で考えてい ました。

今、女川では私達の世代(皆さんの父親 世代)がまちづくりに大きく関わっている と言われています。でも、それだけでは説 明不足で、実はもっと上の世代の方々の力 が大きく関わっています。「これからはお前 たちの時代で、お前達がまちを作る必要が ある」と託して頂いている意味合いがあり ます。私達もその言葉の意味を考えながら、 その言葉に応える為には、ただ建物を作っ ていくのではなく、誰がどの様に使ってい くか、またどんな人に来て欲しいか、見て 欲しいかを考えながら動いています。

その中で皆さんが町外の方々に自慢出来 る様なもの、女川は楽しいんだ、面白い所 なんだと喜んで話せる様な事を私達が作っ て行かなければいけないと考えています。 ある程度まちの形が出来て来て、これから それに命を吹き込む作業が始まります。今 回の経験を基に色んな声を聞かせて下さい。

諸先輩方の思いが詰まった種を私たちが 撒き、いま芽が出ようとしています。皆さ んがその芽を育て、花を咲かせて欲しいと 思っています。

長くなりましたが、本当にお疲れ様でした。今回の出会いを大切に過ごして行って下さい。手紙や電話やメールやline等様々な方法で、是非連絡を取り合ってみて下さい。自分もそうしたいと思います。

最後になりますが今回のキャンプのみならず、ずっと関わって来て頂いた 0-JIS の皆様、名古屋先生、宗前先生、木村さんには感謝と言う二文字では表しきれない思いで一杯です。引き続き女川を、子供達を見守って頂ければと思います。そして今後のキャンプ等で私達で協力出来る事がありましたら何でも言って頂ければと思います。またサポートして頂いている方々にもこの場を借りて厚く御礼申し上げさせて頂ければと思います。言葉では言い尽くせない分、行動と成果で表して行ける様尽力していく

事を約束させて頂きたいと思います。 今後ともよろしくお願い致します。

# サマーキャンプを通じて



チームロイヤル

2015年度(第4回)サマーキャンプに参加した皆さん、猛暑の中での普段とは違う忙しい4日間は、心身ともに疲れたかもしれませんね。行く先々でいろいろなものを目にし、それぞれの仕事の専門的な話や働いている人の思いを耳にし、実習ではこれまでしたこともないような体験をし、そして仲間と毎日話をしてと。でも、皆さん一人ひとりにとって楽しく忘れられない思い出になってくれていたら私たちもうれしく思います。

私たちロイヤルグループでは、第1回目 以降、ロイヤルホストでのお食事や東京食 品工場(セントラルキッチン)での見学と 実習、リッチモンドホテルでの宿泊といっ たプログラムを組んでいます。サマーキャンプに参加する皆さんが、それぞれ楽しみ、またいろいろなことを感じてくれるといいですが、できれば次のようなことも感じてほしいと願っています。

それは、美味しい食べ物を安心して食べていただくこと、ホスピタリティあふれるサービスを受けていただくこと、また快適にホテルに宿泊していただくようなことをする仕事が日本の誇る素晴らしい文化の担い手の一つになれるのではと願って私たちが働いているということです。

日本の食文化や、おもてなしの心に象徴されるホスピタリティは、日本が世界に誇ることのできる素晴らしい文化のひとつと言われています。お食事やサービスの提供というある意味身近に目にする仕事の中に、日本の文化的価値がしっかりと宿っているということは面白いことですね。そして、ロイヤルグループでの仕事に限らず、世の中にいろいろとある仕事には日本ならではの文化に根ざしたものもきっと多いと思います。

皆さんが将来どのような仕事に就くかは 誰もわかりません。きっと本人にとっても 今の希望はあるかもしれませんが、これか らまた新しい希望が出てくるかもしれませ ん。ただ、一人ひとりが何がしかの思いを 持って就ける仕事に出会ってほしいと思い ます。そうした仕事を通じて一人ひとりが より良い社会や価値ある文化を形作ってくれるのではないでしょうか。

末筆になりましたが、名古屋さん・宗前さん・木村さん、0-JIS サポーターの皆様、2015 年度サマーキャンプお疲れ様でございました。私たちチームロイヤルにとっても貴重な夏のイベントとなりました。この場を借りて御礼申し上げます。

## 15 年度サマーキャンプ



東北再生支援ショップ 愛と勇気とさんま 須藤佐和子

サマーキャンプご参加のみなさま、猛暑 のなか大変お疲れ様でした。

女川中学生徒さん、横浜の思い出はたく さん作れましたか?私も今年は夕食会に参 加させていただき、楽しいひと時を過ごさ せていただきました。

ん。ただ、一人ひとりが何がしかの思いを 震災1か月後に支援物資を運んだのがき 持って就ける仕事に出会ってほしいと思い っかけでしたが、女川へ足を運ぶたびにた ます。そうした仕事を通じて一人ひとりが くさんの温かいみなさんと出会えたこと。 さんま焼きや支援ショップを通じ、熱い女川 LOVE の方々と繋がったことが私にとって宝物になっています。生徒さんも横浜での体験や出会いが将来に繋がるといいですね。女川駅前もプロムナード完成に向け着実に進行の様子。今後も素晴らしい風景や美味しい食材を求め、女川に通わせていただきます。

かせ、興味を持って物事に取り組み、自分 の気持ちを上手にアウトプットする能力は、 これから高校・大学、そして社会に出ても とても重要な才能です。皆さんが素敵な女 性に成長していくことを確信しています。

中学2年生は、部活動では中心となり、 高校入試が目の前にチラつき始めて、何と なく不安定な時期でしょう。悩みを共有で きる友人と、相談できる大人とを確保して、 のびのびと過ごしてほしいと思っています。 皆さんの前途に幸あれ!

## サマーキャンプ、お疲れ様でした!



サンケイリビング新聞社 大島美佐

サマーキャンプ 2 日目、皆さんをカメラで撮影しておきながら、ご挨拶ができずすみません! ミセス向けのフリーペーパーを発行する「サンケイリビング新聞社」で、名古屋先生の「なごや耳鼻咽喉科」様の担当として、お世話になっております。

サマーキャンプにご縁あって参加させていただき 2 年目の私ですが、今年の女川中学の皆さんのパワーはすごい!と、瞬時に察知しました。6 人全員が一所懸命で、将来への夢も希望もしっかりと持ち合わせている姿が印象的でした。目をキラキラと輝



フルリール(株) 平野聡

昨年に続き、今回も食事会に参加させて 頂きました。

せっかくの機会でしたが、中学生の皆さんとお話する機会がほぼなかったので、私の事はほとんど記憶に残ってないと思います。コミュニケーション不足で申し訳ございません。

4 回目のサマーキャンプ。運営の皆様は、大変お疲れ様でした。

中学生の皆さんも、いろいろと学べた事が 多かったのではないでしょうか。

これから先の人生で、是非サマーキャンプ を思い返して頂き、「あの時の、あれ楽しか った!美味しかった!面白かった!勉強に なった!」という経験が、きっと財産にな ると思います。

余談ですが、私が中学生の頃は(20年前く らい)ですが、部活(バスケット)ばかり していました。勉強はほとんどしていませ んでした。。。。

当時はおそらく反抗期でもあったので、当時の自分であれば、「大人と行動する」という事は考えなかったと思います。

サマーキャンプはとても素晴らしい会ですが、それに一歩踏み出せた中学生の皆さんも素晴らしいと思います。

いい経験ができて良かったですね!

来年も是非参加して、もっとサポーターと して協力できればと思います。

皆様、お疲れ様でした。



横浜薬科大学 田口真穂

女川の中学生の皆さん

横浜薬科大学の田口です。今回、このプロジェクトに初めてお手伝いをさせていただきました。

皆さんとお会いできたのは、横浜の勝烈 庵でのお食事会の時でしたね。私はまず、 皆さんの明るさと笑顔にびっくりしました。 震災等を経て、辛かったこともたくさんあ ったと思います。皆さんは、自分の中で徐々 に受け入れつつ、今は未来に向かってのパ ワーがあふれているように感じました。ま た、自分の住んでいる女川のことについて の発表も、とても上手でわかりやすくまと めていましたね。みんなで一生懸命考えて 作ったのが伝わってきましたよ。

今回は横浜・東京に来て、市場や工場などを通じて「食」のこと、病院を体験して「医療」のことを体験しましたね。きっと、体験したこと以外にも、このプロジェクトを企画し、支えてくださった方々と触れることで、もっと多くのことを感じ取ってくれたのではないかと思っています。

今回参加して、学び感じたこと、経験したことは、きっとこれからの人生の中でも

大きな思い出になると思います。女川の他 のお友達たちやご家族の方にも、今回皆さ んが感じたことを色々お話ししてあげてく ださいね。皆さんの将来に対する夢や希望 を少しでも大きくするきっかけになって欲 しいと願っています。

# 自分を見つめることの大事さとは



㈱青木や 佐藤真理フランス

お疲れ様です。

一日だけ、初めてキャンプに同行させていただいた佐藤麻里フランスです。

ふだんは、時事通信社という会社で築地市 場にて全国の港のお魚の相場を、ネットで 公開するという、少し変わった仕事をして います。

ですから、横浜の市場見学の日は、私もワクワクしながら、中学生の皆さんの反応を楽しんでいました。

女川町の中学校の皆さんを見ながら、感じたこと、伝えられることを書きたいと思います。

まだ私が14、15歳のときも、どんな人になりたいか、何をしたいのか、わからない年頃でした。だけど、これから高校生、20代、30代と年を重ねるごとに、様々な選択を迫られる場面や、悩む場面が多くなるかと思います。

そのときに一番大事になってくるのが、「自 分の望む幸せとは何か」という内なる問い かけです。この質問に、模範解答はありま せん。自分の心にウソをつくことなく、楽 だから幸せと考えるのでもなく、やりがい や生きがいを感じれる道、自分の心の一番 奥底にある、本当の幸せの姿。

これは、いろいろな体験と、何よりもずっと冷静に考えて、思い悩んで、自分の心に問いかけながら、様々な体験をする中で、自ずとわかっていくものなのです。

今回のキャンプで何回も、いろいろな文章を皆さんは書かれて、いや、書かされて(笑)いたかと思います(-\_^)。だけど、それは、考える練習であり、自分の心の奥底を覗き、自分がどういう人間なのかを、客観的に言語化して、理解していく作業です。

この客観的に考えるという作業を、苦しい 時も悲しい時も、ずっと続けることで、自 分の心にウソをつかない、自分の本当に歩 むべき道を歩きやすくなるはずです。

人の意見に流されたり、流行ではないので す。

どんな人生を歩みたいか。

何が自分にとっての幸せなのか。

一方で、自分が生きる上で、自分が将来、 仕事をする上で、他の人は、自分にとって どんな存在なのか。

今回のキャンプで、様々なことを見て、体験したと思いますが、つまらなくてもいい、楽しかったでもいいんです。その中で、今度は、自分はどんな幸せを望むのか、自分とはいったいどんな存在なのかを、見つめ直して、今後の生きる上での、軸を見つけてほしいと、思います。

迷いが多くなれば、それだけ、他の人にお 世話になる回数も多くなります。

自分の軸がしっかりしていれば、他の人に 迷惑をかける回数も少なくなります。

自分の軸がしっかりしていれば、道を誤る ことも少なくなります。

私も失敗ばかりの人生ですが、自分が間違っていなかったな、と思える道を選べた時は、たいてい、こういうことを大事に、きちんと考えた時です。

常に考えながら、生きること。

ぜひ、このことを大事にしていっていただければ、と思いました。

# 注目されていることを意識して発信 しよう



横浜中田皮フ科 川嵜裕史

中学生の皆さん、15年度のサマーキャンプ お疲れ様でした。横浜で開業医をする傍ら、 市や区の医療行政に関する仕事もしている 川嵜 裕史です。今回サマーキャンプを終えて、自分たち受け入れ側の大人たちもレポートを提出するということで、中学生の みんなに書く文章に悩んでいます。この 1ヶ月で書いては直し、書いては直しの繰り返しを続けていますが、期限が近づいたので提出することにします。

中学生の皆んなは、毎日職業体験を終える たびに、訪問した施設に「お手紙」を書い て大変だったと思います。そう、大の大人 だって、文章を書くのは大変なんです。 だ からこそ、中学生のうちに毎日のことを文 章にするという経験が大切なんです。

「文章を書くことが何の役に立つのだろう?」と思うだろうけど、将来、会社に入って、失敗したときの始末書を書かされる

時に必要なだけでなく、売り上げを上げる ための企画書、広告ポスターの作成、業務 のマニュアル作り等々、「働くということは 言い換えれば書く事。」と言ってもいいと思 います。

皆さん、想像してください。「なぜ宮本武蔵が有名なんだろうか?」と想像してみてください。宮本武蔵がただ人を斬っているだけの殺し屋だったらこれほど有名になっていたでしょうか? ぼくは、宮本武蔵が「五輪書」という武道の書物を書いた人だから、世代を超えて剣客に有名になり、有名だから作家が宮本武蔵を取り上げ小説にし、小説が売れたから、映画やテレビの題材にもなるなどの相乗効果が出た結果、有名になったんだと思っています。

社会人として生活するためには、こちらのサービスにお金を払ってくれる人がいたり、商品を買ってくれる人がいたりすることで初めて収入を得る事ができます。収入を得るための第1歩は「書く」ことだということを今回の職業体験で感じてもらったのではないかと思います。ぼくは中学生の皆が見知らぬ土地で行動している姿をみて、8/4の勝烈庵での発表が内心、心配でした。ですが、蓋を開けてみると堂々と女川のことを発表してくれてちょっと嬉しくなりました。

「上手に自らが発信する手段・技術を磨 くこと」が、すなわち「今の時代を生きて いく」ということと同じなんだと、きっと 大学生ぐらいになるとわかってくれると思 います。それでは、大学生になって、もし くは社会人になって将来の日本を担ってく れる日まで、心と身体だけでなく「発信力」 も鍛えて世界に発信してください。楽しみ に待ってます。

## 取材・掲載していただいた記事

2014年の第3回サマーキャンプ同様、今年もサンケイリビング社の大島美佐さんに、キャンプ2日目の横浜中央卸売市場での実習を取材していただきました。 リビング田園都市Webに掲載していただいた記事です。







まず最初に、卸売事業者の2社のうちの1社、「横浜丸魚㈱」の皆さんからご挨拶をいただき、 大まかな見学の流れを会議室でレクチャー。

生鮮食料品のうち、今回は魚にスポットを当てて、消費者に届くまでの仕組みを説明してくださいました。

食品衛生検査所の職員が常に巡回し、産地から届いた魚の品質管理に努める高い意識を伺いな がら、実はスーパーなどで購入後、自宅での保存方法に問題があるというお話に深く納得して しまいました。

現在の漁獲生産量は30年前の約1/3に、仲帥業者の数は約半数近くまで減少。 魚がとれなくなって扱い高が少なくなり、魚を食べなくなった食生活への変化も危惧されてい るそうです。



中央は社長の岩瀬さん。 「横浜在住の方でも、市場のことはあまり知られていません。この機会に市場の仕組みを勉強

して、何か学んで女川に持って帰っていただけたら嬉しいです」と歓迎のご挨拶。

柴原部長(写真左)のご案内で、一般の人は足を踏み入れることができない「横浜丸魚㈱」の 社員食堂で、おいしい朝ごはんをごちそうになりました。



こちらの社員食堂はすべて手作りにこだわり、この日のメニューは食欲旺盛な中学生も大満足の"手作りハンバーグ"! お惣菜やサンドイッチ、フルーツはセルフで好きなだけいただけて、なんと1食280円!!



会議室に戻り、レクチャーを受けているときに「ギョギョギョーッ!」と登場したのが・・・



鈴木さんです。

中学生の緊張をほぐそうと、暑い中を金魚のかぶり物をしてくださり、場内の「市場探検ガイ ド」に連れていってくださいました。

まずは市場入口近くにある「市場伏見稲荷大神」へ。



京都市の伏見からご神体を持ってきて祀られている稲荷神社は、商売の神様としても知られて

魚供養の意味もこめられているそう。



横浜中央卸売市場の開設20周年と戦後の営業再開を記念して、1951年に製作された御神興もあ

先月開催のお祭りでは、約200人が担いだそうです。 現在同じような御神輿を製作すると、約1000万円以上の費用がかかるとか。



や漬物などが売っている「関連事業棟」を通り・・・



超低温冷蔵庫へ!

外気温は30℃以上、中はマイナス40℃・・・70℃以上もの温度差を体感。 「周りの物には決して触らないように」(凍傷の恐れ)、「足元が滑りやすいので気を付けて 」と注意事項を受けて、ドキドキしながら中へ。



濡れたタオルを振り回すと一瞬で凍り付くあのシーンも、目の前で実演されました。



保存用で使われる発泡スチロール箱は、燃焼すると有害なガスを発生させてしまいます。 その容器を破砕・撹拌したときに発生する熱を利用して、ブラスチック製品の原料となるブロックにしています。



「低温売場」では、市場を行き来する乗り物に皆で搭乗!



・音を立てるから"バタバタ"という名前なんですよ」

ラックで生きたまま運んできた魚が生きたままお店に売られて







D重さの物が多く、1kg当たり2000円程度で取







次に、水産部仲卸売場の「角太の赤」で、女川中学の皆さんのために「まぐろ解体ショー」を 間催  ${\sf I}$ 

実演してくれるのは、市場きってのイケメン、武さんです。



解体されたのは能本県天草で5年間養殖された本マグロで、重さは123kg!







マグロの豆知識を教えてくださいました!

★重さが重くなっても、体長は変わらずに全体的に太くなる★体の上半分が無くて、下半分が白いのは、水中に潜む敵に見つからないようにするため★無類の中では最速で、時速4kmで泳ぐ → 水中では地上の20倍の負荷がかかるので、かな ★全体重の1割がアタマの重さ

マグロは5枚下ろしにして、お腹の部位は大トロ、皮に近い部位は中トロ、骨に近い部位は赤身、腹骨の間が中落ちとして売られています。

なんと!贅沢にも、中落ちを試食させていただきました。





「お刺身が苦手」と言っていた中学生も、「おいしい!」と目を輝かせていましたよ。 これから、たくさんのおいしいお魚との出合いがあるといいですね。 「角太の赤」さんは、小売りもしてくれるので、市場に行かれた折にはぜひ立ち寄ってみてく

### 【横浜市中央卸売市場 本場】

横浜市神奈川区山内町 1

☎045(459)3322 JR横浜駅から徒歩20分、バス便もあり

毎月第1・第3土曜日9:00~11:00は一般市民への開放もしています!

http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/shogyo/orosi/

#### 横浜市中央卸売市場を後にして、中華街を散策。

女川で待つ家族や友人へ、お小遣いと相談をしながらお土産を買うなど楽しいひとときを過ご しました。

その2 へ続きます!

みやぎ女川教育支援プロジェクト

O-JIS=Onagawa Junior Intern Supporters

6 http://www.nagoyajibika.net/volunteer/index.html

## 記事URL:

その1=

http://mrs.living.jp/denen/town\_news /article/1991778



その2=

http://mrs.living.jp/denen/town\_news /article/1994101

























































































## 編集後記

4回目のキャンプに、元気のいい女川中の6 人を迎えることができました。そして、7 人の素敵な大学生チューターも参加してく れました。ありがとう!

東日本大震災から5年。世の中も、人々の関心も、宮城や岩手や福島も少しずつ様変わりをしています。政治や経済も大きく変化しています。そうした世の中で、変わらない普遍的なものがあるとするならば、それは人の心にある「慈しみ」の気持ちではないかと私は思います。誰かを、きれいなものを、頑張ることを、故郷を、大切に思う気持ち。それをこれからも女川の子供達や皆さんと共有していければと思っています。ご協力いただいたすべての方々に感謝申し上げます。 (名古屋孝夫)

報告書作成にご協力下さった皆さん、そして報告書を手に取って下さった皆さん、大変お世話になりました。この報告書を作るにあたり、コミュニケーションの大切さを改めて実感することが出来ました。今回、発見できた改善点を今後に生かせればよいなと思います。このプロジェクトに携わって下さったすべての方々のお蔭で、今年も無事、サマーキャンプを終えることが出来ました。本当にありがとうございます。

(髙橋小春)

四日間のサマーキャンプに関わった方々、 大学生チューター、そして特にご尽力いた だいた名古屋さん、無事に報告書をもちま してサマーキャンプは終了となりました。 お疲れさまでした。今回の様々な出会いや 経験をこれからも大切にして、反省や改善 を進めていけたらと思います。お世話になった方々には本当に感謝しております。あ りがとうございました。 (下重枝保)

# みやぎ女川被災地教育支援プロジェクト O-JIS ( Onagawa Junior Intern Support ) について

私たちの団体は2011年3月11日の東日本大震災の後、震災復興ボランティアに携わった有志のつながりから生まれました。高校の同級生や、復興支援活動で知り合った仲間、呼びかけに応えてくれた友人などで作られた集まりです。共感していただいた方々の熱い志を受け、多大なご協力をいただき活動を始めました。

2012年8月に当時の女川第一中学校(13年度から第一、第二中学校が女川中学校として合併) の2年生を5名横浜に呼び、職業体験を軸に第1回のサマーキャンプを行いました。

13年度は8名、14年度は6名、今回15年度も6名の中学2年生が参加し、職業体験キャンプを行うことが出来ました。

私たちは小さな集まりで活動も慎ましいものですが、大きな夢があります。そしてそれは 参加してくれた子供たちの夢と共に、遠くへとつながるものでありたいと思っています。 これからも出来る限りこのスタイルの教育支援を継続していきたいと思っています。

#### 代表 名古屋 孝夫

なごや耳鼻咽喉科クリニック 院長

〒226-0027 横浜市緑区長津田5-4-1 長津田クリニックビル5F

メール thomas64@nifty.com / thomas3387@gmail.com

## 2015 年度 概要

## 参加者

宮城県牡鹿郡女川町立女川中学校2年 青木 帆乃海

小海途 里菜

杉浦 美吹

鈴木 沙耶

鈴木 奈桜

八巻 愛

# 引率者

なごや耳鼻咽喉科院長 名古屋 孝夫

大阪薬科大学教授 宗前 清貞

学習塾 STEM 代表 木村 奈保子

## 大学生チューター

横浜薬科大学 廻 絵梨香

下重 枝保

赤松 美咲

髙橋 小春

昭和大学 保健医療学部 田沼早央理

医学部 茂木 智拓

薬学部 鈴木 渚

## 協力

青木 千恵 青木 久幸 浅沼 一成 荒木田 和生 伊藤 健司 大川 貴志 大島 美佐 長田 喜樹 河方 淳一朗 門倉 義幸 志田 貴子 柴岡 義幸 柴原 哲 須藤 佐和子 世良田 和幸 竹内 奈緒 竹ノ内久美子 富田 尚彦 中井 雄治 中島 優 中根 秀樹 西田 良成 平野 聡 藤岡 聡 本多 初穂 本間 肇 宮崎 綾子 村松 亨 森本 照美 山田 良宣 山本 晶子 山本 隆志 吉田 裕子 和田 崇 (敬称略)